

体 育

1 学習指導及び学習評価の改善・充実

(1) 社会とのつながりを意識した探究的な学習の推進

高等学校教育は、義務教育の成果を更に発展・拡充させて、豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うという役割を担っている。とりわけ社会への出口に近い高等学校が、初等中等教育の総仕上げを行う学校段階として、未来の創り手となるために必要な資質・能力を生徒に育み、大学教育など高等教育の在り方や、社会生活の在り方につなげていくことが求められている。

体育科は、スポーツを通じた専門教育の学習を希望する生徒が、体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身を育成するとともに、生涯を通してスポーツと多様に関わり、スポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力の育成を目指して開設する学科である。

また、普通教育として、社会で求められる資質・能力を全ての生徒に育み、生涯にわたって探究を深める未来の創り手の育成を目指すといった高等学校教育の一層の充実にも寄与しようとするものである。

体育科の目標にある「生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力」とは、「する、みる、支える、知る」などといった視点から、卒業後においても自己に適したスポーツとの関わり方で自らが継続的にスポーツと多様に関わるとともに、より多くの国民からスポーツの価値や意義が認められスポーツの推進及び発展が支持されるような環境づくりに寄与することができる資質・能力を示している。

こうした中、体育科における思考力、判断力、表現力等の育成に向けては、「する、みる、支える、知る」などの視点から、自己や仲間が継続的にスポーツと多様に関わる上で、文化的、社会的、経済的側面など多角的な視点での課題を発見することが求められており、社会とのつながりを意識した学習を計画的に推進する必要がある。さらに、生徒が自ら計画を立て、実践し、評価するといった課題解決の過程などを主体的に活用して、自らの学習活動を振り返りつつ、仲間とともに課題を解決し、次の学びにつなげられるように思考し、判断するといった探究的な学習過程を提供することが大切である。

(2) 探究的な活動を取り入れた単元の評価の工夫

評価の工夫に向けては、生徒の学習状況を的確に把握し、評価した結果を具体的な言葉かけなどにより生徒の学習改善を促したり、教師の指導の手立てを修正したりするなどの「指導に生かす評価」を充実させる必要がある。その際、ICT端末を活用した動画共有機能や課題提出機能、共同編集機能を活用することで、教師から生徒に速やかにフィードバックすることができることや、生徒自身がこれまでの学習過程を振り返ることができることなどから、評価を効果的に行うことが可能となる。

また、学習評価における「記録に残す評価」については、年間を通じて3観点をバランスよく評価することに留意する必要がある。

2 年間指導計画の例

次の表は、専門学科「体育」における「スポーツⅤ」の年間指導計画の例を示したものである。

教科名		体育	科目名	スポーツⅤ	
科目の目標		(1) 自然との関わりの深い野外の運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。 (2) 自然との関わりの深い野外の運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 自然との関わりの深い野外の運動の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。			
履修学年		3	単位数	3	
月	単元	学習内容	評価規準(例)	評価方法	関連
4 5 6 7	自然体験型の野外の活動	ア 自然体験型の野外の運動への関わり方 (ア) キャンプ ・テント設営方法等 (イ) 登山 ・用具・装備等、 実施計画等 (ウ) 水辺活動 ・遠泳等 (地域のプールを 活用した泳法等)	【知・技】 ・多様な楽しさや喜びを深く味わうための技能や野外の運動に関する各種技能を身に付けている。 ・危機回避の際の行動及び事故発生時の応急手当の技能を身に付けている。 ・体験活動を通してスポーツを推進及び発展するための事項を言ったり書いたりしている。 【思・判・表】 ・映像や記録など客観的なデータから、動きの改善点の妥当性やより効果的な改善策について分析したことを、根拠を示し伝えている。 ・仲間で分担した役割に関する成果や改善するポイントについて、自己の活動を振り返っている。 ・自然環境下で危機回避及び緊急時の対応方法について、のよりよい改善点を指摘している。 ・多様な参加者と共に運動するための調整の仕方や交流会や宿泊体験、競技会や記録会の運営方法等を提案している。	・ICT 端末を活用し、活動計画等のシート作成及び提出 ・学習支援ソフトを活用し、レポートを提出	・地域の社会教育指導者を講師として招聘 ・地域のフィールドを活用 ※教科等横断的な視点 (理科・家庭科)
8 ～ 11		・カヌー ・救急救命、 心肺蘇生			
12 1 2 3	競技型の野外の活動	イ 競技型の野外活動の運動の多様な関わり方 (ア) スキー (イ) クロスカントリースキー (ウ) スケート ・各種目における基本技能・多様な雪面状況や斜面での滑走方法等	【主体的に学習に取り組む態度】 ・多様性・共生などのスポーツを通じた共生社会の実現に寄与する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・地域の参画や仲間づくりなどのスポーツを推進及び発展するためのスポーツの価値を高める学習に主体的に取り組もうとしている。	・滑走の様子動画撮影と分析 ・学習支援ソフトを活用し、自己の練習を撮影し、自己の課題に対する解決方法を調べ、レポートを提出	